



と www.tenpla.net
プラネタリウム

vol.
202

今月のお題

……… アルマ望遠鏡へいざなうポスター

いろんな科学館に行くとき目に入る、宇宙飛行士や国際宇宙ステーションのポスター。でも、国立天文台のものは見かけません。ということで、作ることにしました。

高梨直紘 (東京大学) / 平松正頭 (国立天文台)

新型コロナウイルスはなかなか収まらず、2度目の緊急事態宣言が出されました。宇宙に触れる場のひとつである科学館やプラネタリウム、天文台も、人数制限や休館を余儀なくされているところもあります。仕事柄、コロナ禍前は科学館等で講演する機会が多くありました。そこでよく見かけけるのはJAXA関連のポスター。子どもの頃の私ならじっくり見ていたことは間違いのないと思います。そこまで詳しく読み込まないにしても、ちらりと目に入って宇宙のイメージを持ち帰る方もいらっしゃることでしょ。その効果は大きそうです。

しかし残念ながら、国立天文台関連のポスターはありません。だったら作ればいいじゃない、ということで、アルマ望遠鏡の研究成果をわかりやすく紹介することを目指して季刊でポスターを作ることにしました。科学館等に来る、アルマ望遠鏡を知らない子どもたちにも関心を

持ってもらうため、星空の写真やマンガ、親しみやすいイラストを散りばめた構成としました。

こうしたポスター作り、初めてではありません。国立天文台三鷹の特別公開でマンガを主体にしたアルマ望遠鏡観測成果ポスターを掲示したところ、普通のポスターに見向きもしてくれない子どもたちがじっくりと読みこんでくれることに感心し、マンガの力を再認識しました。また2019年4月のブラックホールシャドウの画像発表の際には、観測成果を速報としてまとめ、記者会見と同時に科学館等にデータを配布しました。ブラックホール画像自体が大きなニュースにもなったので、タイムリーな展示物として多くの館で掲示していただきました。

季刊アルマ望遠鏡ニュース、去年6月に第1号を発行し、今年1月には第3号を発行しました。3号のテーマは惑星の誕生、電波スペクトル、遠方銀河の研究。ア



季刊アルマ望遠鏡ニュース2021年1月号。遠い銀河の研究をテーマにしました。

ルマ望遠鏡ウェブサイトでもPDFで公開していますので、科学館に限らず学校などどこでもお使いいただけます。ぜひご利用ください。

▼ダウンロードはこちらから

<https://alma-telescope.jp/education>